



朝市を通して地域活性化を図ろうと、一般社団法人境港青年会議所(境港J.C)が「さかい夢みなと朝市」をプロジェクトとして初めて企画した。境港市竹内団地の夢みなと公園を会場として魚など水産物を中心に農産物や地域の名産など約50店の出店を見込み、開催する9月30日と10月1日の2日間で1万人の集客を目指す。

市は水産業が盛んだが、漁獲高の減少やコロナ禍の影響による消費減、担い手不足など依然として厳しい環境にある。一方、会場に選んだ同公園の周辺には、国内外のクルーズ客船が寄港する境夢みな

## 朝市で地域活性化を

■ 74 □

一般社団法人境港青年会議所



にぎわい創出などを目指して初めて朝市を開く境港J.Cの関係者ら

とターミナルや白砂青松のサイクリングコースなどがあり近年、再注目されている。境港J.Cは、朝市を通じて境港らしい海辺の公共空間にぎわいづくりや水産業の支援に寄与し、関係団体が連携することで海や魚、同公園の魅力を境港ブランドとしてより強く発信する。

また、朝市の事業費283万円の一部に充てるため、8月31日まで鳥取県と連携したふるさと納税型クラウドファンディング (<https://readyfor.jp/projects/12388>) で寄付も募集中。当初の目標額50万円は達成したが、引き続き次の目標額120万円に向けて支援を呼びかけている。

初開催の成功を基に来年以降につなげる構想もあり、岡空聡理事長は「チーム境港で一丸となって境港をブランディングし、にぎわいを創出していくことに挑戦したい」と、意欲を燃やす。